

# 4月4日(日)

聖書

マタイ28・1～10

聖句

イエスは死人の中からよみがえられた。  
7節

ハレルヤ、ハッピー・イースター！キリスト教会にしかないお祭りです。イエス様のよみがえり、復活を心一杯お祝いしましょう。きよう洗礼を受けるお友だちがいたら、二重におめでとう！イエス様が死人の中からよみがえられたから、信じる私たちの罪がゆるされて、永遠の神様の新しい命に生きる者とされるのです。「死」は私たちにとって、絶望そのものです。ところが、イエス様は死人の中からよみがえられたのです！唯一の救い主ですね。

いのちの祈り  
天のお父様、これほど残酷なことはないと思える死の力を、みごとに打ち破って復活されたイエス様を、ほめたたえます。



聖書

マタイ28・1～10

テーマ

復活による勝利

暗唱聖句

イエスは死人の中からよみがえられた。  
マタイ28・7

目標

キリストの復活による勝利を経験する者となる。

カリキュラム番号 1

# 4月6日(火)

聖書

マタイ27・59～61

聖句

岩を掘って造った彼の新しい墓に納め、そして墓の入口に大きい石をころがして、帰った。  
60節

ヨセフはイエス様の死体を受け取り、きれいに亜麻布に包みました。そして岩を掘って造った、自分の家の新しいお墓に納めたのです。墓の入口には、大きい、重い石をころがして、ふたをしてしまいました。マダラのマリヤと、もう一人のマリヤとが、そのお墓にむかってすわっていました。あ、あの大きな石の向こうにイエス様の身体が、死んでしまわれたお身体があるのだわ、と、全く絶望的でした。死はずべてをのみ込んでしまいました。

いのちの祈り  
天のお父様、ちょうど大きい石のように、死は私たちの目の前にあるすべての望みをふさいでしまいます。

# 4月5日(月)

聖書

マタイ27・57～58

聖句

この人がピラトの所へ行行って、イエスのからだの引取りかたを願った。58節

隠れクリシタンって聞いたことがありますか？キリスト教が国で禁止されていたころ、だれにも知られないようにイエス様を信じていた人々です。アリマタヤのヨセフという人も、イエス様が生きておられたころはそのようでした。でも十字架の愛が心に満ちあふれて、ヨセフは現われ、クリスチャンになりました！恥ずかしい十字架刑で殺されたイエス様のおからだを引き取りました。十字架のイエス様の愛が心にあふれると、もうじつとしてはいられないのです。

いのちの祈り  
天のお父様、私の心もあなたの愛で満たしてくださって、イエス様のためにできることをさせてください。

## 4月8日(木)

聖書

マタイ28・1～4

聖句

それは主の使が天から下って、そこにきて石をわきへころがし、その上にすわったからである。 2節

さあ、週の初めの日、イエス様が葬られて三日目の夜明けになりました。マグダラのマリヤとほかのマリヤは急いでお墓を見に来ました。「ドドン、グラグラッグラッ」「キヤーツ、大地震だわ!」するとどうでしょう! いなびかりのように輝いた姿、雪のように真白い衣の主の使が天から下ってきて、あの大きな石をわきへころがすではありませんか! 人にはできないことも神様にはおできになる! 困難の大石が目の前にあっても信じる者には大丈夫です。

いのちの祈り 天のお父様、今も、あの復活の朝のように、私にできないことは、あなたがしてくださると信じていきます。

## 4月7日(水)

聖書

マタイ27・62～66

聖句

長官、あの偽り者がまだ生きていたとき、「三日の後に自分はよみがえる」と言ったのを、思い出しました。 63節

イエス様を十字架につけたピラトのもとに、祭司長や、パリサイ人たちが集まりました。彼らも聞いていたのですね。イエス様が、三日の後に自分はよみがえる」と言っておられたのを。でも、彼らはその言葉に恐れと不安をいだきました。もしかして弟子たちが死体を盗んで、「よみがえった」と言いふらすかもしれない。だから、しっかりと封印をし、墓の番をさせたのでした。不信仰な人間の知恵と力が、どんなに愚かしいかよくわかります。

いのちの祈り 天のお父様、あなたを信じない人の知恵は空しく、その力も全く無いのだということをよくわからせてください。

## 4月10日(土)

聖書

マタイ28・9～10

聖句

すると、イエスは彼らに会って、「平安あれ」と言われたので、彼らは近寄りイエスのみ足をいだいて拝した。 9節

「さあ、弟子たちにこのニュースを伝えなさい、イエスは死人の中からよみがえられた。ガリラヤへ行かれるのでそこでお会いしなさい」と。女たちはあまりのことで、ぶるぶるふるえ恐れながらも、しかし、イエス様は生きておられるという、これ以上考えられないような大きな喜びで心がはちきれそうな思いで、急いで走り出しました。すると、何と復活の主の音声、「平安あれ」が響きました。「平安あれ」、今も復活の主からのメッセージですね!

いのちの祈り 天のお父様、宇宙大のグッド・ニュース、イエスターをありがとうございます。私にも大いに伝えさせてください。

## 4月9日(金)

聖書

マタイ28・5～8

聖句

もうここにはおられない。かねて言われたとおりに、よみがえられたのである。 6節

「恐れることはない」、神様は、また神様がおつかわしになった御使いは、いつでもこのように語りかけてくださいます。これだけでもホッとしますよね。「十字架におかかりになったイエスはもうここにはおられません」と。そう、かねて言われたとおりに、復活されました! お墓の中に、死体はありません。よみがえられて、生きておられます! かねて言われたとおりに、です。イエス様が言われたことは必ずやそのとおりになるのです。信じましょう。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を死人の中からよみがえらされた、あなたのお力を心の底より、ほめたたえます!

## 4月11日(日)

聖書

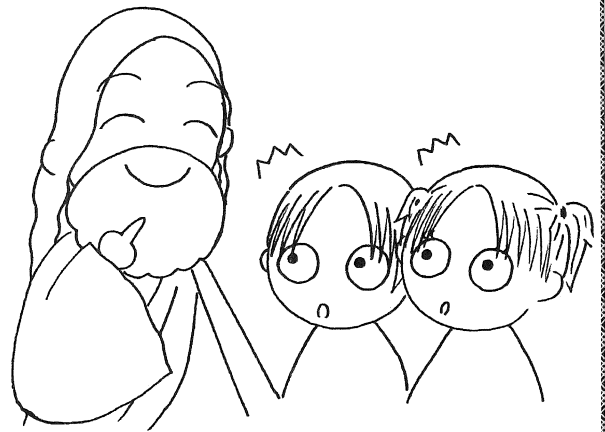
ルカ 24・13～32

聖句

彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。 31節

クレオパさんともう一人のお弟子さん。その名前はわかりませんが、二人とも目が見えない人だったのでしょうか？ いえ、ちゃんと見えていました。でも、エマオへ行く途中に近づいてきて、一緒に歩いている人がだれなのか、全然わかっていなかったのです。復活されたイエス様だ！というのに！その人からお話を聞いてもまだわかりません。その人がパンを取って、祝福して、さいて渡しておられるのを見て、「アレ？ イエス様！」と、やっとわかりました。

祈り 天のお父様、私の心の眼、霊の眼をいつも開いて、共に歩んでいてくださるイエス様を見させてください。



聖書

ルカ 24・13～32

テーマ

心の目を開かれて

暗唱聖句

彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。

ルカ 24・31

目標

霊の眼が開かれて主を見る者となる。

カリキュラム番号 2

## 4月13日(火)

聖書

ルカ 24・17～18

聖句

彼らは悲しそうな顔をして立ちどまつた。 17節

「彼らの目がさえぎられて(16)とあります。それは、ちょうどサングラスをかけたみたいでした。彼らはいろいろなサングラスで目が曇らされて、イエス様がよく見えなかったことがわかります。まずは「悲しみのサングラス」です。イエス様が十字架で死に、葬られてしまったという悲しみが心をいっぱいにし、心の目をかすませてしまいました。私たちも悲しくて涙を流すとき、悲しいことばかり考えて、イエス様が見えなくなることがあります。

祈り 天のお父様、悲しくて、涙を流すようなことがあっても、復活のイエス様だけは共にいてくださると信じさせてください。

## 4月12日(月)

聖書

ルカ 24・13～16

聖句

語り合い論じ合っていると、イエスご自身が近づいてきて、彼らと一緒に歩いて行かれた。 15節

「ねえ、クレオパくん、君はどう思う？ ナザレのイエスのこと」、「うーん、一体全体どういうことだろう。女たちの言っていることが信じられると思うかい？」などと、エルサレムからエマオの村に向かう二人の弟子たちは話していたのでしよう。その二人にスーツと近づいてきて、一緒に歩き出した人がいます。問題の主人公、復活のイエス様！でも二人はその人が、まさかイエス様だとは、全然気づきません。私だったらどうだったかな？

祈り 天のお父様、よみがえられたイエス様はきょうも私に近づき、一緒に歩いてくださることを感謝します。

# 4月15日(木)

聖書

聖句

ルカ24・22～27

ああ、愚か<sup>おろこ</sup>で心の<sup>こころ</sup>にぶいた<sup>よげん</sup>ため、預言者<sup>しや</sup>たちが説いた<sup>こと</sup>すべての事を信じられな<sup>せつ</sup>い者<sup>もの</sup>たちよ。 25節

さて、もう一つのサングラスというのは、「不信仰<sup>ふしんこう</sup>のサングラス」です。彼らの仲間<sup>なかつま</sup>である数人<sup>すうにん</sup>の女<sup>おんな</sup>が、彼ら<sup>かれ</sup>を驚かせたというわけ<sup>わけ</sup>です。つまり、彼女<sup>かのじよ</sup>たちが朝早く墓<sup>はか</sup>に行くと、イエスのからだが見つからない。すると御使<sup>みつか</sup>いが現れて、「イエスは生きておられると告げました。それを聞いた仲間<sup>なかつま</sup>が墓<sup>はか</sup>に行ってみると、女<sup>おんな</sup>たちが言ったとおり、イエスは見当<sup>みあた</sup>らなかったのです。二人<sup>ふたり</sup>の心は「とても信じられない」という不信仰<sup>ふしんこう</sup>の思いでいっぱいでした。

いのちの祈り  
天のお父様、信じないとき、心の眼はすっかり曇<sup>くも</sup>ってしまいます。素直<sup>すなお</sup>に信じて、いつでもイエス様を見たいです。

# 4月14日(水)

聖書

聖句

ルカ24・19～21

わたしたちは、イスラエルを救<sup>すく</sup>うのはこの人<sup>ひと</sup>であろうと、望<sup>のぞ</sup>みをかけていました。 21節

ガツカリ、ガツカリと、肩<sup>かた</sup>の力<sup>ちから</sup>、心の力<sup>こころのちから</sup>が抜<sup>ぬ</sup>けてしまう「失望<sup>しつぼう</sup>のサングラス」もかかっていたのがわかります。「この人<sup>ひと</sup>、ナザレのイエスこそ、イスラエルを救<sup>すく</sup>ってくれる人<sup>ひと</sup>にちがいない」と望<sup>のぞ</sup>みをかけていたのに…十字架<sup>じゆうじやく</sup>につけられてしまいました。そして、この事が起<sup>おこ</sup>ってから、きょうはもう三日目<sup>みつかめ</sup>なのです」と、彼ら<sup>かれ</sup>はイエス様に話<sup>はな</sup>すのです。復活<sup>ふっかつ</sup>して、彼ら<sup>かれ</sup>の目の前<sup>まえ</sup>にいるイエス様にです！ガツカリ失望<sup>しつぼう</sup>のサングラスがかかつてはいませんか？

いのちの祈り  
天のお父様、私もガツカリしてしまうことがよくあります。失望<sup>しつぼう</sup>のサングラスをかけないように助けてください。

# 4月17日(土)

聖書

聖句

ルカ24・33～43

わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしののだ。 39節

二人<sup>ふたり</sup>は、「それ」とばかりに、またエルサレム<sup>エルサレム</sup>に引き返<sup>かえ</sup>して行くと、十一弟子<sup>じゅういちでし</sup>とその仲間<sup>なかつま</sup>たちが、「主<sup>しゅ</sup>は、ほんとうによみがえって、シモン<sup>しもん</sup>に現<sup>あらわ</sup>れたさう」と言<sup>い</sup>っているではありませんか。二人<sup>ふたり</sup>も負<sup>ま</sup>けてはいられません。エマオ<sup>エマオ</sup>のでき事を話<sup>はな</sup>したのでした。するとその時<sup>とき</sup>、イエス様<sup>イエス様</sup>がまん中に立<sup>た</sup>たれました。驚<sup>おどろ</sup>き恐<sup>おそ</sup>れる弟子<sup>でし</sup>たちに、「大丈夫<sup>だいじょうふ</sup>、わたしだよ」と、手<sup>て</sup>と足<sup>あし</sup>とお見<sup>み</sup>せになり、弟子<sup>でし</sup>たちは喜<sup>よろこ</sup>びました。イエス様<sup>イエス様</sup>は本当に生<sup>い</sup>きておられます！

いのちの祈り  
天のお父様、いつも心の眼がしっかり開かれて、復活<sup>ふっかつ</sup>のイエス様<sup>イエス様</sup>を見つめながらすごせるよう、お守<sup>まも</sup>りください。

# 4月16日(金)

聖書

聖句

ルカ24・28～32

道々<sup>みちみち</sup>お話しになつたとき、また聖書<sup>せいしよ</sup>を説<sup>と</sup>き明<sup>あか</sup>して下さったとき、お互<sup>たが</sup>いの心<sup>こころ</sup>が内に燃<sup>も</sup>えたではないか。 32節

三人<sup>さんにん</sup>が食卓<sup>しょくたく</sup>につくと、その人<sup>ひと</sup>がパンを取り、祝<sup>しゅく</sup>福<sup>ふく</sup>してさき、弟子<sup>でし</sup>たちに渡<sup>わた</sup>しておられるうちに、二人<sup>ふたり</sup>の目<sup>め</sup>が開<sup>ひら</sup>けて、「アッ！イエス様<sup>イエス様</sup>！」とわかつた瞬間<sup>しゅんかん</sup>、お姿<sup>すがた</sup>が見えなくなりまし

た。「ああ、そうだったのかあ」、「なるほど」と、二人<sup>ふたり</sup>はやっとピンときたのでした。「どおりで、お話を聞<sup>き</sup>いたり、聖書<sup>せいしよ</sup>の説<sup>と</sup>き明<sup>あか</sup>しをして下さったとき、心が内にわくわく燃<sup>も</sup>えたはずだよ」と。今<sup>いま</sup>も、み言葉<sup>ことば</sup>を読<sup>よ</sup>むとき、私<sup>わたし</sup>たちの心も熱<sup>あつ</sup>く燃<sup>も</sup>えるのがわかります。

いのちの祈り  
天のお父様、み言葉<sup>ことば</sup>を読<sup>よ</sup>むときに、復活<sup>ふっかつ</sup>のイエス様<sup>イエス様</sup>とお出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>いでき、力<sup>ちから</sup>と希望<sup>きぼう</sup>に満<sup>み</sup>たしていただ<sup>ふっかつ</sup>けて感謝<sup>かんしゃ</sup>です。



## 4月18日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ20・24～29

見ないで信ずる者は、さいわいである。  
29節

「うつつそう！ ホントウ？」「信じられない」というような時、あなたならどちら？「信じます」？「いや、信じられません」？ここに登場するのは「疑い深い」というレッテルを張られているトマス。彼は「見なければ、決して信じない」という人でした。彼は考えようによれば「正直」だったのです。イエス様は彼のすべてをご存知で、八日後、二度目にトマスのいる所に来てくださいました。ひれ伏すトマスに、「信じる人になりなさい」と言われます。

いのちの祈り 天のお父様、あなたやイエス様については、見ないで信じることがどんなに幸いなことかよくよくわかりました。



聖書

ヨハネ20・24～29

テーマ

見ないで信じる幸い

暗唱聖句

見ないで信ずる者は、さいわいである。  
ヨハネ20・29

目標

見ないで信じる者となる。

カリキュラム番号 3

## 4月20日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ20・24～25

わたしは、その手に釘あとを見、わたしの指をその釘あとにさし入れ、また、わたしの手をそのわきにさし入れてみなければ、決して信じない。  
25節

「残念だったねえ、トマス。」「君も一緒にいたらよかったのに」、「イエス様とお会いしたんだよ」。弟子たちだって、イエス様を見たから喜んで信じたのでした。トマスだけ疑い深い人間だとみんなから言われていますが、トマスは正直だったのです。信じているふりはできなかったのです。だから、こんなふうになうしかなかったのですね。「ちゃんとこの目で見て、この指でさわってみるまでは絶対に信じられないよ」とね。

いのちの祈り 天のお父様、私も時には信じられないと思えるような時があります。ありのまま、あなたにお祈りしていきます。

## 4月19日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ20・19～23

そう言って、手とわきとを、彼らにお見せになった。弟子たちは主を見て喜んだ。  
20節

マグダラのマリヤから、復活の主にお会したと聞いても、弟子たちはユダヤ人をおそれ、戸をピタツとしめ切っていたのでした。週の初めの日の夕方のことです。戸がしまっていたのに、イエス様が入ってこられて、彼らの中に立つて「安かれ」と言われ、手とわきとを見せてくださいました。弟子たちの喜ぶ顔が目に見え、弟子たちは主を見て喜んだのでした。その弟子たちをイエス様は聖霊に満たしておつかわしになるのです。

いのちの祈り 天のお父様、何がうれしいと言って、よみがえられて生きておられるイエス様を見る喜びは最高の喜びです。

## 4月22日(木)

聖書

Ⅱコリント4・16～18

聖句

わたしたちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ。 18節

あなたの目はよく見えますか？ 視力1.5だとバッチリですね。でも肉眼は時々見まちがえたり、見そこねたり、そして段々と視力が落ちます。それに目に見えるものは一時的で、どんな変化したり、なくなっていくたりします。何て心細く、頼りないことでしょうね。でも、見えないものに目を注ぐ世界があります。信仰の目をもって見る世界です。目に見えず、手に取って見せてあげられない大切なものがいっぱいあります。それは永遠に続くものです。

祈り 天のお父様、目に見えるもの、目から飛び込んでくる一時的なものに、振り回されないようお守りください。

## 4月21日(水)

聖書

ヨハネ20・26～29

聖句

トマスはイエスに答えて言った、「わが主よ、わが神よ」。 28節

イエス様がトマスのそんな心を知られないはずがありません。イエス様は私たちの苦しみ悩む心をよくわかっていてくださって、イエス様らしい方法で素晴らしく解決してくださいます。八日後です。今度はトマスも一緒にいた時、戸が閉められていたのに弟子たちの中に来てくださいました。そしてトマスに、「さあ、指をわきに入れてみなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい」と言われ、トマスは心から主を礼拝しました。

祈り 天のお父様、イエス様を生きておられる神様として心から礼拝し、見ないで信じるさいわいな者になります。

## 4月24日(土)

聖書

ヘブル12・1～2

聖句

信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。 2節

「イエスから目を離さないでいなさい」と、新改訳聖書にはあります。「一体、何を信じていったらいいのかしら」、「一体、何に頼っていったらいいのかしら」、「一体、何を信じていったらいいのかしら」と、みんなさがし求めているにちがいありません。そこで、「ハイ！ イエス様ですよ！」と、私たちは迷わず言えるのです。イエス様は信仰者のお手本です。父なる神様を信じてぬき従いぬいて、今、天の座についておられます。しっかりと見つめ続けましょう。

祈り 天のお父様、どんな時も、何が起こっても、いつでもイエス様を仰ぎ見つつ、目を離さず進んでいきますように。

## 4月23日(金)

聖書

Ⅱコリント5・1～10

聖句

わたしたちは、見えるものによらないで、信仰によって歩いているのである。 7節

「それで、わたしたちは心強い」と続いています。きのうも見ましたように、見えるものは、本当に一時的でどんなに変化したり、なくなったり、過ぎ去ったりしていきます。どうですか？ あなたのかわいいペットも、もしかしていなくなったかもしれませんね。見えるものを頼ったり、あてにするのではなく、見えないもの、すなわち、目には見えないけれど、ちゃんとおられる神様を信じる信仰によって歩くなら、心強いし、安心して進めるのです。

祈り 天のお父様、見えるものではなく、それを造り、治めておられる、目に見えないあなたを信じて歩ませてください。

# 4月25日(日)

聖書

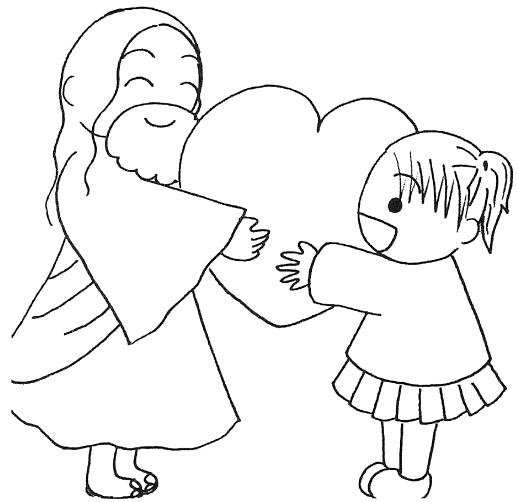
ヨハネ21・15～19

聖句

あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛するか。 15節

お友だちに裏切られたことありますか?「くやしいし、悲しいし、どうしていいかわからない。もう顔も見たくない」と思ったでしょうか。実は、イエス様もそんな心の痛いことがあったのです。一番弟子のペテロさんに、「あの人のことは知らない!」と三度も言われたのです。十字架にかかる前にね。でもイエス様は、ペテロを愛とゆるしの眼ざしで見つめました。復活してペテロに近づき、ゆるし、愛を求め、そして「わたしの羊を養いなさい」と、使命を与えられました。

**祈り** 天のお父様、ペテロのように弱いわたしも愛し、ゆるしてくださり感謝します。あなたを心から愛し続けます。



聖書

ヨハネ21・15～19

テーマ

わたしを愛するか

暗唱聖句

あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛するか。

ヨハネ21・15

目標

罪をゆるし、回復させてくださる主を知り、主を愛する者となる。

カリキュラム番号 4

# 4月27日(火)

聖書

ヨハネ21・4～6

聖句

舟の右の方に網をおろして見なさい。そうすれば、何かとれるだろう。6節

暗い夜、そう、弟子たちにとっては心も真っ暗でしたが、その夜が明けたころ、イエス様が岸に立つておられました!まさに、夜明けとなりました。ところが、弟子たちはだれもイエス様だとは気づきません。「何か食べるものは?」「ありません。」「舟の右の方に網を」と言われて、弟子たちがそのあたりに網をおろしてみました。すると!どうでしょう!網が上がりません!ほどの大漁!イエス様のお言葉をそのまま信じて従うと、すごい事が起こるのですね。

**祈り** 天のお父様、イエス様から離れると何もできません。でもイエス様につながると多くの収穫があると信じます。

# 4月26日(月)

聖書

ヨハネ21・1～3

聖句

しかし、その夜はなんの獲物もなかった。 3節

「ここでもペテロはリーダーです。」「わたしは漁に行くのだ」と言うのと、そこにいた他の弟子たち数人も、「わたしたちも行く」と言って舟に乗りました。彼らはイエス様から、「わたしについてきなさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」(マタイ4・19)と言われていたのを忘れてしまったのでしょうか?自分の心の思うままに、もとの漁師にもどって漁に出かけました。しかし、一匹もとれなかったのです。主から離れるとダメですね。

**祈り** 天のお父様、イエス様のことを忘れて、自分の思うままにしても、何の収穫もないことがよくわかりました。

# 4月29日(木)

聖書

ヨハネ21・9～14

聖句

イエスは彼らに言われた、「さあ、朝の食事をしなさい。」 12節

夜明けの湖のほとり、すがすがしい朝の空の中、陸に上がってみると、そこには炭火がこしてありました。ペテロは一つの場面――火にあたっていた時のこと――を思い出したかもしれせん。その上には魚があり、パンもありました。網を引きあげてとれた魚は153匹もありました！さあ、朝の食事です。弟子たちはイエス様とわかつていたので、黙々と食べました。イエス様ご自身がパンや魚を与えてくださったって接待してくださったのです。

いのちの祈り 天のお父様、仕えられるためではなく、仕えるために来られたイエス様の愛が、ひしひしと伝わってきて、感謝です。

# 4月28日(水)

聖書

ヨハネ21・7～8

聖句

イエスの愛しておられた弟子が、ペテロに「あれは主だ」と言った。 7節

ヨハネは自分のことを「イエスの愛しておられた弟子」と記しました。(ヨハネさん、あなただけじゃないよ、わたしだってそうよ、とカゲの声?) そのヨハネはともデリケートでしたから、「アレ? こんなこといつかもあったぞ。あつ、イエス様だ」とわかり、ペテロに、「あれは主だ」と叫んだのです。その声にペテロはびっくりしました。裸になっていたので、おそれ多く思っ、あわてて上着をつけて、海にとびこんだのです。ペテロらしいね。

いのちの祈り 天のお父様、すぐにイエス様だとわかった愛の使徒ヨハネのように、わたしも主と深い愛の交わりができますように。

# 5月1日(土)

聖書

ヨハネ21・18～22

聖句

あなたは、わたしに従ってきなさい。 22節

それからイエス様は、ペテロの将来のことをお話しになってから、「わたしに従ってきなさい」と言われました。ふとペテロがふり返ると、ヨハネがついて来るのが見えたのです。ペテロはヨハネのことがとても気になって、「主よ、この人はどうなのですか」と、ついたらずねてしまいました。「あなたにはなんの係わりもない。あなたは、わたしに従ってきなさい」。私たちも、あなたの子のこと、この子のこと、気になっても、「私は主に従います」と決心しましょう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたは一人一人にちがった計画をお持ちです。「私はあなたにどこまでも従います」。

# 4月30日(金)

聖書

ヨハネ21・15～17

聖句

わたしの羊を養いなさい。 17節

「この人たちが愛する以上に、わたしを愛するか。」へたとい、みんなの者があなたにつまづいても、わたしは決してつまずきません。(マタイ26・33)と言ったつけ。わたしを愛するか。「わたしを愛するか」。へわたしは三度、イエス様を知らないと言った。ペテロの心はズキズキうずいて、でも、「わたしがあなただを愛していることは、おわかりになっています」とくり返しました。そのペテロをもう一度信頼して、大切な仕事を任せられました。

いのちの祈り 天のお父様、誰の愛にも比べることのできないズバぬけた天の愛、アガペーの愛、イエス様の愛に圧倒されます。

# 5月2日(日)

聖書

マタイ28・16～20

聖句

見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。20節

進級式や入学式から一ヶ月くらいたちましたね。どんな毎日だったでしょう？復活のイエス様といっしょだから大丈夫だったでしょう？今日も力強いイエス様の言葉の約束をにぎって、新しい一週間を始めましょう。イエス様は、「天においても地においても、いっさいの権威を授けられた」お方。そう、全宇宙で一番強いお方なのです！だって、死の力を打ち破られたのですから。そのお方が世の終りまで、一日一日、すべての日、いっしょにいてくださいます。

いのちの祈り 天のお父様、復活されたイエス様が毎日共にいてくださり感謝です。イエス様のことを伝えていけますように。



聖書

マタイ28・16～20

テーマ

共におられるキリスト

暗唱聖句

見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。 マタイ28・20

目標

共におられる主を信じて、主を証しする者となる。

カリキュラム番号5

# 5月4日(火)

聖書

マタイ18・15～20

聖句

ふたりまたは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである。 20節

私たちがお祈りできるって、すごい事ですね。二人がどんな願い事についても地上で心を合わせてお祈りしたら、天にいますイエス様の父なる神様が、それをかなえてくださるというのです。そして、二人でも三人でもイエス様のお名前によって集まっている所には、「わたしもその中にいるよ」とイエス様がおっしゃっています。本気でお祈りしてみませんか。だれかと集まるなら、イエス様もそこにいてくださいます。きよい集まり！いいですね。

いのちの祈り 天のお父様、二人でも三人でもイエス様のみ名で集まるなら、インマヌエルの主がその中にいてくださり、感謝です。

# 5月3日(月)

聖書

マタイ1・18～23

聖句

見よ、おとめがみこもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう。 23節

マタイはその福音書を、「神様が共におられる」で始め、「共におられる」で終わっています。その中にも「共におられる」のメッセージを入れました。イエス様のお名前が、イザヤの預言では『インマヌエル』と記されています。これはヘブル語で、訳すと「神われらと共にいます」という意味なのです。そもそもイエス様ご自身が、神様であって人となられた、神とともにいますお方。そして、その神様が私たちとも共にいてくださるという感謝なお名前です。

いのちの祈り 天のお父様、インマヌエルというお名前の救い主イエス様が、いつもどんな時も共にいてくださってうれしいです。

## 5月6日(木)

聖書

マルコ16・14～18

聖句

全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。 15節

オー！復活のイエス様からの、ものすごいご命令だなぁって思いませんか？全世界に出て行きなさい、すべての造られた者に、イエス様の十字架と復活による救いの福音を宣べ伝えなさいというものです。なぜって、世界中の人が救われなければならないからです。日本人だけでなく、全世界のどんな国の人もです。だからすべての造られた人に伝えなければなりません。すぐ隣りの人もそうです。お家の人もです。将来宣教師になっていく人もあるかもね。

いのちの祈り 天のお父様、造られたすべての人、全世界の人が必要な福音を、わたしも信じられて感謝です。伝える人にならせてください。

## 5月5日(水)

聖書

マタイ28・16～20

聖句

見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたと共にいるのである。 20節

日曜日に読んだのと同じ聖書の箇所、同じ暗唱聖句です。覚えていますか？もう見ないで言えますか？マタイはこのようにして、最後にも「わたしは共にいる」とインマヌエルでしめくくっています。特にどんな時かと言うと、「すべての国民を弟子として」、「バプテスマを施し」とあるように、インマヌエルの主の福音を宣べ伝える時です。お友だちにイエス様のこと、教会のことを話すのは勇気がいるよね。そう、その時！共にいてくださるのです。

いのちの祈り 天のお父様、素晴らしいイエス様を伝えようとする時、特に「わたしは共にいる」とのお約束で励まされます。

## 5月8日(土)

聖書

Ⅱテモテ4・1～8

聖句

御言を宣べ伝えなさい。 2節

大迫害者サウロ、そのサウロが復活のイエス様と出会って、とらえられて大伝道者パウロに見事、変身！イエス様の愛にパンパンに満たされて、遠く広く、ヨーロッパにまで福音を伝えました。命がけの3回の伝道旅行でも復活のイエス様がいつもパウロと共におられました。地上のお仕事がもう終りそうと、愛弟子テモテに最後のお手紙を書きました。「御言を宣べ伝えなさい」と。み言葉と共に聖霊が働いてくださいます。み言葉カードを配りましょうか。

いのちの祈り 天のお父様、すべての人が必要なのは命のみ言葉です。お祈りしてカードを人々に配ります。祝福して用いてください。

## 5月7日(金)

聖書

マルコ16・19～20

聖句

主も彼らと共に働き、御言に伴うしるしをもって、その確かなことをお示しになった。 20節

イエス様は、「行きなさい」と言われるだけではないことが、ここでもわかりますね。弟子たちは言われたとおりに出て行って、いろんな所で、どんどん福音を宣べ伝えました。使徒行伝にも書いてあるし、多くの宣教師物語を読むとわかります。その時、「主も彼らと共に働き」と書いてあるとおりに、たしかに生きておられる復活のイエス様が、弟子たち、宣教師たちと共に働いてくださって、多くの実が結ばれてきたのです。今も主は働かれます。

いのちの祈り 天のお父様、今や全世界にいろんな形で福音が伝えられていて驚きです。私も、小さくても伝えさせてください。

# 5月9日(日)

聖書

エペソ 6・1～4

聖句

あなたの父と母とを敬え。

2 節

母の日です。「お母さん、ありがとう」と、世界中で感謝をあらわす美しい日ですね。アメリカで教会学校の先生をしていたジャビーヌ夫人と、その娘アンナさんから、この母の日が始まりました。クリスチャンとしては誇りですね。この手紙を書いたパウロ先生は第一の戒めとして、モーセの十戒の中から、今日のみ言葉を用いました。「主にあって両親に従いなさい」です。神様を知ってはじめて、本当に親の愛の心がわかり、両親を敬い従えるのです。

いのちの祈り 天のお父様、両親あつての私です。両親の愛と苦労を心より感謝して、尊敬し、従う子どもにしてください。

母の日



聖書

エペソ 6・1～4

テーマ

両親に従う

暗唱聖句

あなたの父と母とを敬え。

エペソ 6・2

目標

主にあって両親を敬い従う者となる。

カリキュラム番号 6

# 5月11日(火)

聖書

出エジプト 20・12～17

聖句

あなたの父と母を敬え。

12 節

では、第五戒から第十戒をぬき書きして、覚えることにしましょう。あとの六つは、私と人との関係についての戒めです。その部分の初めに、「あなたの父と母を敬え」とあります。これがどんなに大切かわかりますね。父と母は、子どもにとって神様の代理人のような、大変な役割を与えられているのです。そしてこの戒めにはよい約束がついています。「主が賜わる地では、あなたが長く生きるためである」と。毎日、父母のために祈るといいですよ。

いのちの祈り 天のお父様、父母のために、毎日祈ります。そこから心よりの敬う思いと、喜んで従う心が満ちると信じます。

# 5月10日(月)

聖書

出エジプト 20・1～11

聖句

あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。 3 節

今日読む聖書の中に、モーセの十戒の中の第一から第四までの戒めが入っています。ぬき出してノートに書いて覚えるといいと思います。この四つは私と神様との関係についての戒めです。その第一戒が今日のみ言葉です。この神様こそが、イスラエルの民をあつて恐ろしいエジプトの奴隷生活から完全に救い出してくださいました。ですから、この神様以外に拝むべき神はいはずです。私をも罪の奴隷から救ったのは十字架の主だけでした。

いのちの祈り 天のお父様、大切なモーセの十戒が守れるのは、イエス様の十字架で救われているからだとなりました。

# 5月13日(木)

聖書

箴言15・20

聖句

知恵ある子は父を喜ばせる、愚かな人はその母を軽んじる。 20節

あなたをお腹の中に宿してから、お母さんがいろんな苦しいことや、不安なことなどを味わい、痛い思いをしてあなたを産み出し、そのあとも毎日毎日、夜もろくろく眠れないで大切に育ててきてくださったことを、時々はお母さんに聞いたり、考えたりすることは、とてもいいことでしょうね。そんなお母さんの苦労と愛情がわかると、お母さんをバカにしたりは絶対にできないでしょう。子育ての苦労話を聞き、心からお母さんと神様に感謝する知恵ある子になりましょう。

祈り 天のお父様、父や母を大切にしない子どもがいます。母の日が大いに用いられて知恵ある子が増えるよう祈ります。

# 5月12日(水)

聖書

箴言13・1

聖句

知恵ある子は父の教訓をきく、あざける者は、懲らしめをきかない。 1節

「亀の甲より、年の功」って古い言葉だけど、聞いたことありますか？初めて聞きましたか？年は無駄にはとってはいませんよ。あなたより年を多く生きている人、ここではお父さんだけど、お母さんでもいいです。そういう人の教えをよく聞く子どもは賢い、知恵ある子どもですよ、ということですよ。お父さんやお母さんがみんなより長く生きて経験してきた大切な教えをよく聞きましょう。特に神様をおそれ敬う父や母の教えは何より大切な宝物です。

祈り 天のお父様、私もお父さんやお母さんの教えをよくよく聞いて、本当の知恵ある子どもになれるように。

# 5月15日(土)

聖書

ルカ2・40～52

聖句

それからイエスは両親と一緒にナザレに下って行き、彼らにお仕えになった。 51節

両親を敬い、従い、お仕えになられた模範—それがイエス様でした。12歳になった時父ヨセフ、母マリヤ、そして親族や知人たち一行と共に、イエス様はエルサレムに上京しました。帰り道、イエス様は神殿で教師たちと話して、両親は息子がいなくなったとあわてました。「わたしは自分の父の家にいました」という息子の言葉が理解できないヨセフとマリヤでした。しかし、イエス様は30歳になるまで大工の子として両親にお仕えになりました。

祈り 天のお父様、ナザレの村で両親にお仕えになったイエス様のように、わたしも両親に心から仕えさせてください。

# 5月14日(金)

聖書

箴言22・6

聖句

子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。 6節

あなたは今、どんな人から、どんなことを教えてもらっているのでしょうか？学校では、いろんな科目があつて、頭はいつぱいの学科を吸収しています。教会学校では、神様のみ言葉を心に刻んでもらっています。何て幸いなことでしょう。この道、つまり、神様をおそれ、信じ、敬い、み言葉に従ってゆく道こそ一番大切な教えの道です。その道を教えてくれる父母、祖父母、教会の先生たちに感謝しましょう。年老いても立派に生き続けられる道です。

祈り 天のお父様、たった一回きりの人生を、一番よい道を歩む人生へと教え導いてくださる人々を、ありがとうございます。



## 5月16日(日)

聖書

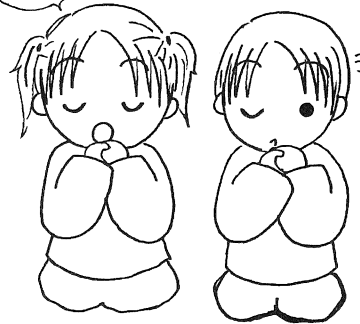
使徒 1・1～14

聖句

心を合わせて、ひたすら祈をしていた。  
14節

あなたも何か一つのことを一日中ずっとした  
ことがありますか？ここでは弟子たちが「ひた  
すら」というのは、もうただ一心に他の何もし  
ないで、お祈りだけを続けたということです。  
一日中遊ぶのはうれしいけど、一日中お祈り  
するのはー？実は弟子たちは丸九日間もし  
たのです！「父の約束」の「聖霊によって、バ  
プテスマを授けられる」ために。そしてついに  
十日目に聖霊が天から注がれました。弟子た  
ちの心は一つとされ、忍耐強く祈りましたね。

**いのちの祈り** 天のお父様、初めて天から聖霊が注がれた時、  
お祈りをして忍耐強く待つことがどんなに大切だ  
ったかわかりました。



聖書

使徒 1・1～14

テーマ

聖霊待望の祈り

暗唱聖句

心を合わせて、ひたすら祈をして  
いた。使徒 1・14

目標

聖霊の満たしを求めて祈る者とな  
る。

カリキュラム番号 7

## 5月18日(火)

聖書

使徒 1・6～8

聖句

ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あ  
なたがたは力を受けて、エルサレム、ユダ  
ヤとサマリヤの全土、さらに地のはてま  
で、わたしの証人となるであろう。8節

「イエス様こそ、生きておられる救  
い主ですよ！」と、大胆に、どこで  
もだれにでもお話しできる人のことを  
「証人」と言います。「わたしの証人」、  
つまり「イエス様の証人」です。しか  
しそうなためにはただ一つだけ、な  
くてならないものがあります。「ただ、  
聖霊があなたがたにくだる時」です。  
この「ただ」がキー・ポイントですね。  
他の方法では絶対になれないのです。

**いのちの祈り** 天のお父様、力ある主の証人になれる道はただ  
一つです。私も聖霊を注がれてあなたの証人にな  
りたいです。

## 5月17日(月)

聖書

使徒 1・1～5

聖句

エルサレムから離れないで、かねてわ  
たしから聞いていた父の約束を待って  
いるがよい。4節

絵を描こうとすれば、何を準備しますか？  
おやつ作りをしようとするれば、何を準備し  
ますか？「神の国」のことを伝えるために、  
復活のイエス様も、大切な準備をされまし  
た。ご自分が生きておられることを40日  
間、いろんな場面で弟子たちに知らせま  
した。その時「神の国」のことをお話しさ  
れたのです。次の準備として、弟子たち  
が「神の国」のことを伝えるためには、  
どうしても聖霊の力が必要なので、エル  
サレムで待つようにおっしゃったのです。

**いのちの祈り** 天のお父様、私もイエス様のこと、神の国のこ  
とを伝えたいです。大切な準備である聖霊を待ち  
望みます。

# 5月20日(木)

聖書

使徒 1・12~13

聖句

彼らは、市内に行って、その泊まっていた屋上の間にあがった。 13節

オリブ山からエルサレムに帰ってきた弟子たちは、エルサレム市内に入り、泊まっていた屋上の間にあがりました。それは二階の広間、英語で、アパルムでした。一階はいろいろと人の出入りもあつたりして、集中できないと思つたのでしようね。中心メンバーは、イエス様を裏切つて死んでしまったイスカリオテのユダをのぞいた、十一弟子たちでした。名前が覚えられますか？ここでもペテロが一番に記されています。いよいよお祈りの準備に入ります。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様がおっしゃったとおりに彼らは準備しました。神様が用意された人々と場所だと知ります。

# 5月19日(水)

聖書

使徒 1・9~11

聖句

イエスは彼らの見ている前で天に上げられ、雲に迎えられて、その姿が見えなくなった。 9節

「あれえ、イエス様、行つてしまわれるのですかあ…」つて、弟子たちは口をあけて、何とも言えない顔をして、心細い思いで、イエス様が見えなくなってしまった天を仰いでいたようです。すると二人の白い衣を着た人が、「あなたがたを離れて天に上げられたイエスは、また同じ有様でおいでになる」と言うではありませんか。再臨の希望！と共に、弟子たちは、「わたしが行けば、助け主がくる」と言われたイエス様の言葉を思い出しましょう。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の昇天のできごとの中にも、たくさんの深い意味が含まれていることがわかりました。

# 5月22日(土)

聖書

使徒 1・14

聖句

彼らはみな、婦人たち、特にイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちと共に、心を合わせて、ひたすら祈をしていた。 14節

次に注目するメンバーたちは、「イエスの兄弟たち」です。イエス様の弟たちの名前は、ヤコブ、ヨセ(フ)、ユダ、シモンでした。ヨハネ7・5には、「こ言つたのは、兄弟たちもイエスを信じていなかったからである」と記されています。そんなイエス様の兄弟たちまでもが、この祈りの群に加えられています。イエス様の十字架と復活を見て、信じる者とされたのです。イエス様の福音の底力はすごいですね。

いのちの祈り 天のお父様、祈りの輪がガッチリと組まれて、しっかり準備が整えられることのすばらしさを教えられます。

# 5月21日(金)

聖書

使徒 1・14

聖句

彼らはみな、婦人たち、特にイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちと共に、心を合わせて、ひたすら祈をしていた。 14節

中心メンバーの十一弟子に加わって大切なメンバーが記されています。「特にイエスの母マリヤ」です。このマリヤのすばらしい信仰仰は、クリスマスの時、しっかりと味わいますね。「わたしは主のはしめのためです。お言葉どおりこの身になりますように」と、御使いにこたえて、命の主をお宿しました。さらに、マリヤはこの大切な祈りの群に加わって、教会をこの地上に産み出す、命の働きの中でも用いられました。

いのちの祈り 天のお父様、私もマリヤのように、大事な時をよくわきまえた信仰者として祈れるよう助けてください。

# 5月23日(日)

聖書

使徒2・1～17

聖句

わたしの霊をすべての人に注ごう。

17節

ペンテコステおめでとうございます。今日はイエス様が復活して50日目、お約束の聖霊が天から注がれた日を記念します。ちよとおもしろいこの記念日の名前は、ギリシャ語の50をあらわす言葉からつけられました。聖霊降臨日、そして教会誕生記念日です。昔は、特別な人々、つまり、王様とか祭司とか預言者たちにだけ油注ぎといって、聖霊が注がれましたが、イエス様が来られた終りの時、今はすべての人に注がれます。小さいあなたにだってですよ。

祈り 天のお父様、私の上にもお約束の聖霊が注がれることを知ってありがとうございます。祈り求めています。



聖書

使徒2・1～17

テーマ

聖霊に満たされて

暗唱聖句

わたしの霊をすべての人に注ごう。  
使徒2・17

目標

聖霊に満たされて生きる。

カリキュラム番号8

# 5月25日(火)

聖書

使徒2・5～13

聖句

あの人々がわたしたちの国語で、神の大きな働きを述べるのを聞くと、どうしたとか。

11節

祈りに祈った弟子たちの心の中の汚れや醜いものは、炎のような聖霊の火によって焼き尽くされました。そして聖霊によってイエス様がなされた、大きな愛による救いのみわざを話したのです。そこにいた色々の国々、民族の人々がわかる彼らの言葉でね。アパルムで祈った人々は120名ばかりの人々でしたが、その人たち、一人ひとりの上に聖霊が注がれました。そこにいたまわりの人々は、本当にびっくり仰天！だったのがよくわかりますね。

祈り 天のお父様、聖霊なる神様が心に満ちてくださると、心の汚れがきよめられ、あかしの舌が与えられると知りました。

# 5月24日(月)

聖書

使徒2・1～4

聖句

すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。

4節

「まだかな？」きょうもまだかなかな？弟子たちは、一日、二日、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日、祈りに祈って、「本当なのかな？」ともチラッと思ったでしょう。か、待ちました。本当ですとも！神様は約束をきちんと守られました。五旬節の日、復活から50日目！祈り出して十日目！突然、天からの聖霊が降りました！風のような音、舌のようなものが炎のように分れて一人ひとりの上にどまり、みんな聖霊に満たされました。

祈り 天のお父様、あなたのお約束には絶対にまちがいはありませんでした。私も信じて祈って待ち望みます。

# 5月27日(木)

聖書

ルカ11・1～13

聖句

天の父はなおさら、求めて来る者に聖霊を下さらないことがあろうか。 13節

「イエス様、私たちにもお祈りを教えてください」と、弟子たちはイエス様の祈るお姿を見て言いました。するとイエス様は、「主の祈り」を教えてくださいました。あなたはもう「主の祈り」を覚えましたが？ ゆっくりお祈りしましょう。そして「一生けん命求めるなら与えられます」と教えてくださいましたのです。人間の父でも子どもが求めるそのものを与えるのです。だから、天の父は一番よい贈り物である聖霊を、求めて来る者にきつと与えてくださいます。

祈り 天のお父様、どう祈ってよいかわからない時、「主の祈り」をします。そして、聖霊を求めてお祈りします。

# 5月26日(水)

聖書

ヨエル2・28～32

聖句

その後わたしはわが霊をすべての肉なる者に注ぐ。 28節

「あの人たちは新しい酒に酔っ払っているんだ」とあざけり笑う人々もいました。そこでペテロが聖霊に満たされて立ち上がりました。「いや、ヨエルの預言のとおりのおこがこったのだ」と。ヨエル書で調べましょう。ペテロの言ったとおりですね。「すべての肉なる者（人）に注ぐ」とあります。むすこ、娘は預言をする、老人たちは夢を見る。素敵な輝く老人になれる！若者たちは幻を見る。生き生きと未来に向かって神と共に生きる若者たちに！

祈り 天のお父様、あなたの約束の聖霊が注がれる時、どの年代の人でも本当に輝いて生きられることを感謝します。

# 5月29日(土)

聖書

ガラテヤ5・16～26

聖句

御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。 22～23節

私たちの心に、聖霊によって、イエス様を王様として迎えようと、素晴らしい実がどんどん結ばれて、心の中から、あふれ出て来ます。だってイエス様ご自身がこのような性質のお方だからです。実はイエス様以外には、この世界、この宇宙に、こんなうるわしい実を結ぶことができる人はだれ一人いません。イエス様は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制そのものなるお方です。「イエス様、私の心をあなたで満たしてください」と叫びたいですね！

祈り 天のお父様、この世の中であって、こんなうるわしい実を結べる人生を与えてくださる恵みを感じたいです。

# 5月28日(金)

聖書

ガラテヤ2・19～21

聖句

生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。 20節

聖霊のバプテスマは、水のバプテスマ（洗礼）を受けた人が、次に与えられるものです。「きよめの恵み」とも言われます。水のバプテスマがまだのお友だちも、聖霊のバプテスマがどんなものなのか知っておくことはとてもよいことです。今日のみ言葉によると、古い私、心の中に19ノ21節のような醜いものをもつ私が、イエス様と共に十字架につけられて死んだ者と信じ、もう私ではなくイエス様が私のうちに生きておられると信じることです。

祈り 天のお父様、自分の心や人の心を傷つける古い私（自我）を十字架につけて、イエス様に生きていただきたいと思います。

# 5月30日(日)

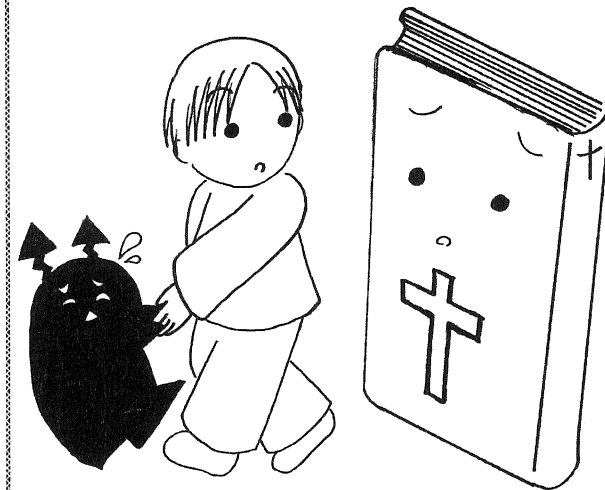
聖書  
聖句

マルコ 1・14～15  
悔い改めて福音を信ぜよ。

15節

今日から6月、7月と、「キリストの教え」について学びます。イエス様が30歳になられて神の国の福音を伝え始められました。「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と。あなたは人が死ぬとどうなるか、どこへ行くのか、知ってますか？ 重大問題ですね。イエス様は神の国を伝えるに來てくださいました。神様の前に罪をおわびして、イエス様の十字架の身代わりを信じて、罪をゆるしてもらって神の国に入れるのです。体が死んだ後も永遠に。

いのちの祈り 天のお父様、永遠の神の国に入れる道を備えてくださり感謝します。悔い改めてイエス様を信じたいです。



聖書

マルコ 1・14～15

テーマ

キリストの宣教

暗唱聖句

悔い改めて福音を信ぜよ。

マルコ 1・15

目標

悔い改めて福音を信じる者となる。

カリキュラム番号9

# 6月1日(火)

聖書  
聖句

Iヨハネ 1・5～10

もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。 9節

悔い改めて、きちんとすることはとても大切です。それは、自分の罪を告白することです。それによって、自分がどんなに罪深い人間であるのが、ハッキリとわからせてもらえるからです。そしてそんな私の罪を悲しんで、身代わりに十字架に死んでくださった救い主イエス様を仰ぐことです。それによって、「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ」と、真実な神様から罪のゆるしを宣言していただけます。

いのちの祈り 天のお父様、悔い改めることは恥ずかしい狭い門ですが、しっかり悔い改めて、全部ゆるしていただけますよう助けてください。

# 5月31日(月)

聖書  
聖句

マタイ 7・13～14

狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからは行って行く者が多い。 13節

「赤信号、みんなで渡ればこわくない」。この考えは滅びにつながる広い道で、大きな門です。みんながやってくるから、と罪を犯し続けていけば、広い滅びへの道を歩いているのです。そんな人が多いとイエス様も言われます。でも「狭い門からはいれ」と招いておられます。それはどんな門かといえは悔い改めの門です。そしてそれは命にいたる大切な門です。命にいたる道は細いので歩くのも困難です。自分一人やっと歩けるくらいかもしれません。

いのちの祈り 天のお父様、狭い悔い改めの門を通り、細い道、命の道がどの道であるかを知って、しっかり歩ませてください。

# 6月3日(木)

聖書

ローマ1・16～17

聖句

わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシャ人にも、すべて信じる者に、救いを得させる神の力である。 16節

「イエス様のことや教会のこととか、お友だちには恥ずかしくて言えないな」と思いますか？とんでもない！と返事をするのはパウロ先生です。「わたしは福音を恥としない」。イエス様のすばらしい救いのグッド・ニュースです。ニュースはどんなに伝えるべきです。しかもこの福音、このグッド・ニュースと言え、これを信じるならば救われるというのですから！ユダヤ人、ギリシヤ人、全世界の人々の救いの福音です。

祈り 天のお父様、本当に福音の力の大きいことを思っています。多くの人の人生を変えてきたこの福音を伝えたいです。

# 6月2日(水)

聖書

I コリント15・1～8

聖句

この福音によって救われるのである。 2節

パウロ先生が伝えた「この福音」によって「救われるのである」と、力強く記しています。パウロ先生が最も大事なことでしてコリントの人々に伝えたのは、自分自身も受けたことだったと言います。それは聖書に書いてあるとおり、キリストがわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、三日目によみがえったこと、そして現れてくださったことだと言っています。そうです。イエス様の十字架と復活ですね。あなたもこの福音を信じていますか？

祈り 天のお父様、イエス様の十字架と復活の福音こそ、すべてのすべてです。信じる人が救われることを感謝します。

# 6月5日(土)

聖書

II テモテ2・8～13

聖句

ダビデの子孫として生れ、死人のうちからよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていないさい。これがわたしの福音である。 8節

あなたはよくお手紙を書きますか？もし、今から書く手紙が、地上で最後のお手紙だとしたら、何を書くでしょうね！パウロ先生が地上最後のお手紙を、愛する息子のような弟子のテモテに書きました。「イエス・キリストをいつも思っていない。これがわたしの福音である」でした！テモテはしっかり心に刻んで、いつも、何をする時も、イエス様のことを思っていたことでしょうか。私たちもそうしたいですね。

祈り 天のお父様、毎日いろいろなできごとがありますが、いつもイエス様のことを思っていることができますように。

# 6月4日(金)

聖書

エペソ2・1～10

聖句

あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。 8節

私たちはみんなオギャーと生れたままだった。罪の中に死んでいる者です。自分で自分を罪から救えないし、罪深い自分を変えることもできません。神様はそんな私たちをかわいそうに思ってください。イエス様をおつかわしくださって、滅びの川から救い上げてくださいました。ただ一方的な神様の大きな愛とあわれみと恵みによって。その救い主イエス様をただ信じて、イエス様と共によみがえらせていただいたのです。感謝あるのみ。

祈り 天のお父様、あなたの変わらない愛とあわれみと恵みを感謝します。信仰によって救われました。信じ続けます。

## 6月6日(日)

聖書

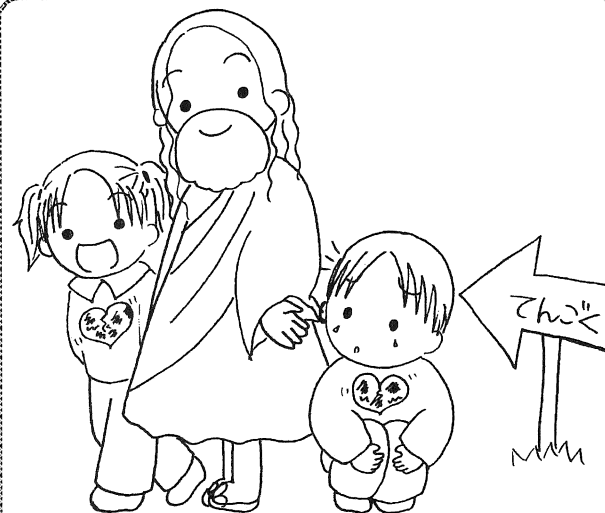
マタイ 5・1～12

聖句

こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。 3 節

本当に幸いな人は「こころの貧しい人」たちです。イエス様は山の上で弟子たちに話されました。「さでどういう人でしょう?」「天国は彼らのものである」といわれる人々は10節にもあります。「義のために迫害されてきた人たち」もですね。よくばりで、悪や不正を行って「この世のもの」を手に入れて、お金や財産があふれている人、この世の中の人々は幸せと言いかもしれません。しかし、何を「得る」より「天国」をもつことが一番の幸いです。心へり下った人の幸いです。

**いのちの祈り** 天のお父様、あなたがご支配される天国に生きるために、心貧しい者、迫害される者となる幸いを見えます。



聖書

マタイ 5・1～12

テーマ

真に幸いな人

暗唱聖句

こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。 マタイ 5・3

目標

真に幸いな人がどういう人かを知る。

カリキュラム番号 10

## 6月8日(火)

聖書

マタイ 5・5

聖句

柔和な人たちは、さいわいである、彼らは地を受けつぐであろう。 5 節

「ここに使われている「さいわい」という言葉は、とても幸せそう、周囲の人たちがうらやましがらるほどのさいわいという意味の言葉です。柔和な人たちは、心へりくだった、やわらかい心の持ち主たちはさいわい。そういう人たちは地を治めますということです。柔和な人といえ、アブラハムの息子イサクを思い出してください。彼は柔和で争いませんでしたね。神様はその所有を豊かにして、井戸もお与えになりました。心やわらかい人になりたいね。

**いのちの祈り** 天のお父様、すぐにキレそうになったり、怒りっぽくならないように、わたしも柔和なさいわいの人になしてください。

## 6月7日(月)

聖書

マタイ 5・4

聖句

悲しんでいる人たちは、さいわいである、彼らは慰められるであろう。 4 節

悲しんでいる人がさいわいなの? 涙を流したり、もしかしたら泣きわめく時もあるかもしれない。「そんな悲しんでいる人がさいわい?」と思ってしまうでしょうか。実はこの悲しみというのは、とても深い悲しみをさしているのです。それは「自分の罪を深く悲しむ」とことです。あなたもきつと悔い改めをした時、経験したと思います。でもそれはほんとうに幸いなことでした。そういう人は慰められるからです。罪のゆるしの喜びは大きかったですものね。

**いのちの祈り** 天のお父様、本当に、このみ言葉そのものが大きな慰めです。悲しみの中にあなたのなぐさめを知るのは喜びです。

# 6月10日(木)

聖書

マタイ 5・7

聖句

あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう。  
7 節

なんてさいわいな人たちでしょう！あわれみ深い人たちは、あなたも今までにだれかを見て、「かわいそう」と思ったことがあるでしょう。亡くなってしまったペットを抱いて、「かわいそう」と泣いてしまったかもしれないね。その「かわいそう」という心を、あわれみ深い心といいます。とても大事な心ですね。そのような人は、また他の人々から、親切なあわれみを受けることに、きつとなりますよということです。「あわれみ深い心してください」と祈りましょう。

いのちの祈り 天のお父様、だれよりもあなたがわたしをあわれんでくださり感謝します。わたしの心にもあわれみを満たしてください。

# 6月9日(水)

聖書

マタイ 5・6

聖句

義に飢えかわいている人たちは、さいわいである、彼らは飽き足りるようになるであろう。  
6 節

「ああ、なんてさいわいなのでしょうか！義に飢えかわいている人たちは」ということになりました。義に飢えかわくとは、もともと神様のこと、神様のまごころを知りたいと切に心が求めている姿です。そういう人たちはきつと、その求めにこたえられて、飽き足りるようになりますよというみ言葉です。今日、あなたの心はどうですか？神様のこと、イエス様のこと、聖書を読んでも読んでも、まだまだ奥深いなあと感じますね。ますますかわきましよう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたについて、イエス様についてももっとも知りたいです。それはまるで深い泉のようです。

# 6月12日(土)

聖書

マタイ 5・9

聖句

平和をつくり出す人たちは、さいわいである、彼らは神の子と呼ばれるであろう。  
9 節

ああ、なんてさいわいな人たちなのでしょう！平和をつくり出す人たちは、彼らは神の子と呼ばれるでしょう。ピースメーカーです。トラブルメーカーではありません。平和製造人です。どうですか？あなたがそこに行くと、ちよつとザワザワしたり、何だか変な空気になる？としたら大変です。そうではなくて、あなたが来てくれると、何かそごがなごやかになって、何とはなしに楽しくなるよ、という具合だったら、大丈夫。あなたは神の子です。

いのちの祈り 天のお父様、平和をつくり出すことは普通ではできません。聖霊の力が必要です。さいわいなピースメーカーになりたいです。

# 6月11日(金)

聖書

マタイ 5・8

聖句

心の清い人たちは、さいわいである、彼らは神を見るであろう。  
8 節

ああ、なんてさいわいな人たちなのでしょう！心の清い人たちは、彼らは神を見るでしょう。私たちの心が清くされた時、それはやっぱり悔い改めの時でした。神様の鋭い清い光の中で、まっ黒い罪のかたまりの自分を見ました。その瞬間、この私の罪のために身代わりに十字架で死んでくださったイエス様を見ました！ゆるされて清くされた心にイエス様を見たのでした。私たちの心がいつも清く保たれて、神様を見続けられますように。

いのちの祈り 天のお父様、毎日、イエス様の十字架を見続けて歩めますように。いつも清い心が守られ続けられますように。



# 6月13日(日)

せいしよ  
聖書

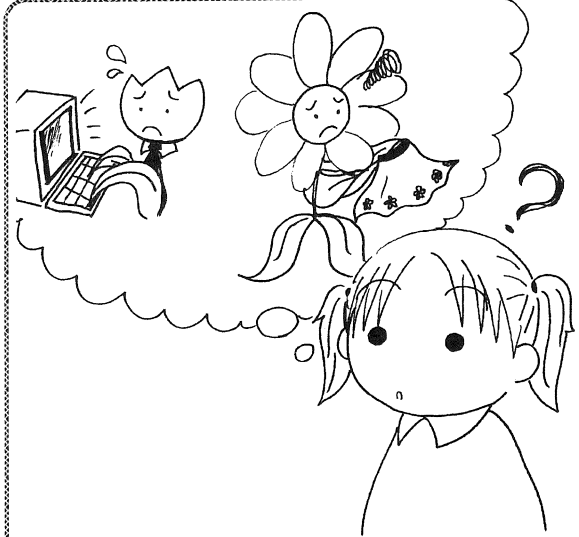
マタイ 6・25～34

せいこく  
聖句

野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。 28節

今日は花の日・子どもの日禮拜です。子どもたちが主役！いや、うちの教会は毎週そうですよ、だとうれしいですね。お花のきれいな子はいませんよね？お花の種類、数えられる？色々な色や形や、おまけに香りですよ。どうしてこんなにきれいなのかな。お花は一言もしゃべりませんが、私たちの心にたくさんのお話を教えてくれます。神様が造られ、育て、美しく咲かせてくださるのです。「何を着るか？」よりも、神様の命で心が輝くことが大切なのです。

いのちの祈り 天のお父様、きれいなお花をありがとうございます。それ以上に私をも装ってくださることを感謝します。



せい  
聖

しよ  
書

マタイ 6・25～34

テ - マ

思いわずらうな

あんしよせいこく  
暗唱聖句

野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。マタイ 6・28

もく  
目

ひよう  
標

野の花を育て養われる神の愛を信じる。

カリキュラム番号 11

# 6月15日(火)

せいしよ  
聖書

マタイ 6・28～30

せいこく  
聖句

栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。 29節

ソロモン王様の栄華、栄えて、華やかだった宮殿の様子とか、聞いたことがありますか？神殿は純金で作られたものが輝いていて、ソロモンの王冠や王座王服のきらびやかなこと、そこに仕える人々の数や様子に、シバの女王様はびっくり返るほど驚いてしまいました。ところがイエス様は、「いや、あの栄華をきわめた時のソロモンだってこの野の花の一つにも負けているよ」と言われます。しかも「その野の花さえあんなに装われるのだからあなたにだって！」と。

いのちの祈り 天のお父様、何という驚きでしょう！ソロモンより、野の花より、私たちをもっと美しく装ってくださるとは！

# 6月14日(月)

せいしよ  
聖書

マタイ 6・25～27

せいこく  
聖句

空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、倉に取りいれることもしない。 26節

「思いわずらい」ばかりする子どもは少ないかもしれないけれど、もしかしていませんか？心配ばかりする、そしてドキドキ、ハラハラ、クヨクヨする人です。何を食べようか、何を飲むか、今、日本の食料はそんな心配なんか全然お呼びでないかな。逆に、感謝が足りないと思います。地球上には、食べ物がないで飢えて死んでいく多くの子どもたちもいます。自分で収穫できない空の鳥を、神様はちゃんと養っておられます。神様の愛を届けたいね。

いのちの祈り 天のお父様、食べ物がないで苦しんでいる人々のために、私にもできることがあれば、教えてください。

# 6月17日(木)

聖書

マタイ 6・34

聖句

だから、あすのことを思いわずらうな。 34節

あすのために用意をしなくてもいいというの  
ではありません。あすのことを考えて、ちゃん  
とランドセルの中に入れるものは入れるし、  
洋服も用意しておくことは大切です。でも、  
あす何が起るか私たちにはわかりません。  
わからないのに、「ああなったらどうしよう？  
こうなったらどうしよう？」と心配しないほ  
うがいいですよということです。それより、き  
ょう、今、何をしたらよいかをちゃんと知っ  
て、きちんとしましょう。一日一生なのです。

いのちの祈り  
天のお父様、きょうの一日をせい一杯生きてい  
けますように。それが、一日であり、一生となっ  
ていきます。

# 6月16日(水)

聖書

マタイ 6・31～33

聖句

まず神の国と神の義とを求めなさい。  
そうすれば、これらのものは、すべて  
添えて与えられるであろう。 33節

だから、思いわずらうことなんかありま  
せん。何も心配しなくていいのです。天の  
父なる神様は、私たちに何が必要なの  
か、ちゃんと知っていて、必要な衣・食・  
住は与えてくださいます。しかも、きょう  
のみ言葉によると、「添えて」与えてくだ  
さるということです。それらは「おまけ」の  
ようなものです。ですから何はさておいて  
も、まず、第一に求めるべきは、神の国と  
神の義です。いつでもどこでも、神様第一  
にしましょうということです。

いのちの祈り  
天のお父様、神様のことをいつも一番に考え、  
一番に求めています。聖書を読んでお祈りして、  
一日を過ごします。

# 6月19日(土)

聖書

I ペテロ 5・6～11

聖句

神はあなたがたをかえりみている下さる  
のであるから、自分の思いわずらいを、  
いっさい神にゆだねるがよい。 7節

「こんな僕の気持、私の気持ってだれも  
わかってくれないよね」と思うことがある  
でしょう。「この心配ごとだってだれもわ  
かってくれないかも」。そう思う時、いや  
いや、実は、おひとりおられますよ！ 神様  
です。神様はあなたがたをかえりみてい  
くださるのです。心配していただくさ  
うなのです。だから、その思いわずらい、  
心配ごとを全部、神様におゆだねしなさい。  
お任せしなさい。その心配のボールを自分  
の手から神様の方に転がしてしまふのです。

いのちの祈り  
天のお父様、きょうのみ言葉をありがとうございます。  
いつも心配していただくあなたにお  
まかせします。

# 6月18日(金)

聖書

ピリピ 4・4～7

聖句

何事も思い煩ってはならない。 6節

だって、弱い人間だし、心も弱いし、それに  
弱い子どもだから、やっぱりいろいろと心配し  
てしまうよ、と言いたくなりますね。そのとお  
り、それでも、「何事も思い煩ってはならない」  
のです。何事も、ですよ！ そのかわりに、事ご  
とに、ひとつ、何でも、まずは神様がおられ  
ること、神様が愛でいらっしやることを心より  
感謝して、お祈りし、お願いしてみなさい、と  
のみ言葉です。すると味わったこともないよう  
な平安が、イエス様にあつて与えられます。

いのちの祈り  
天のお父様、心配ごとで心がさわぐ時、何でも  
あなたにお祈りします。あなたの平安で心を満た  
してください。

# 6月20日(日)

聖書

マタイ7・7～12

聖句

求めよ、そうすれば、与えられるであ  
ろう。 7節

「お父ちゃん、パンがほしいよ」、「ほらー」と石を投げますか? 「魚が食べたいよ」、「そらー」ってへびを与えたりしません。肉親の父でもそうです。天の父なる神様は、なおさらのこと、求めてくる者に良いものをくださるにきまっています。だから、求めなさい、与えられます。捜しなさい、見いだします。門をたたきなさい、きつとあけてもらえますと、イエス様の大切な教えです。きょう父の日に、お父さんに感謝し、天の父にしっかりお祈りしましょう。

いのちの祈り  
天のお父様、あなたは私のような者の祈りも聞いて応えてくださることを感謝します。もっと祈らせてください。

ちち ひ  
父の日



聖書

マタイ7・7～12

テーマ

いのちの祈りに応えてくださる神

暗唱聖句

求めよ、そうすれば与えられるであ  
ろう。 マタイ7・7

目標

求める者に良い物を与えてくださる父なる神を知る。

カリキュラム番号12

# 6月22日(火)

聖書

ルカ11・1～13

聖句

友人だからというのでは起きて与えないが、しきりに願うので、起き上がって必要なものを出してくれるであろう。 8節

「主よ、わたしたちにも祈ることを教えてください」と、弟子たちがイエス様にお願した時、主の祈りを教えてくださいました。あと、このたとえ話をしてくださいました。つまり、しつこく祈りなさいということです。与えられるまでうるさく求めなさい。あきらめないで求め続けなさいと。ネバー・ギブアップ(Never give up!)(決してあきらめるな!)とね。マタイ7・7と似た言葉がありますね。求める者に天の父は良い物、聖霊をくださいます。

いのちの祈り  
天のお父様、今まであきらめてしまったことがよくありました。これからはしつこく祈り求め続けたいです。

# 6月21日(月)

聖書

マタイ18・18～20

聖句

もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。 19節

この地上で、たった二人で祈るお祈りであっても、心を合わせてお祈りするならば、どんな願い事であっても、天におられるイエス・キリストの父なる神様が、それをかなえてくださるなんて、何という大きな励ましでしょう! あなたはだれかと二人でお祈りするところがありますか? お母さんと二人で? お父さんと二人で? 仲の良いお友だちと二人で? 兄弟で? 姉妹で? 心合わせてお祈りしたくなりますね!

いのちの祈り  
天のお父様、イエス様のみ言葉のお約束をありがとうございます。だれかと二人で祈る時、信じて祈ります。

# 6月24日(木)

聖書

ヨハネ11・39～44

聖句

父よ、わたしの願いをお聞き下さったことを感謝します。 41節

イエス様は神様のひとり子であられました。神様なのだから、別にお祈りしなくても…と思うでしょうか。いいえ、イエス様はよくお祈りをして、父なる神様とお交わりをし、上からの力を受けられたのです。そうしないとやっていけなかったのです。朝早く夜明け前に、夕方、時には夜中ずっとお祈りされることもありました。そのイエス様がラザロのお墓の前で、祈りに応えてくださる父なる神様に感謝し、「ラザロよ!」と叫ぶと、死人がよみがえりました!

いのちの祈り

天のお父様、毎日毎日のお祈りとお交わりの積み重ねがどんなに大切であるのか、よくよくわかりました。

# 6月23日(水)

聖書

ルカ18・1～8

聖句

イエスは失望せずに常に祈るべきことを、人々に譬で教えられた。 1節

ここにもイエス様が祈りについてのたとえ話をされたことが出ています。「失望しないように、いつも祈るのですよ」と励ましていてくださいます。このやもめが「私を訴える者をさばいて、私を守ってください」とお願いしても、なかなかこの裁判官は聞き入れてくれません。何しろ神を恐れず、人を人とも思わない人だったのですから。しかし、やもめは失望せず願ひ続けたのです。そしてついに、「面倒だから」と裁判官は重い腰をあげたわけです!

いのちの祈り

天のお父様、きょうもイエス様のたとえ話をありがとうございます。私もやもめのように祈り続けけます。

# 6月26日(土)

聖書

ヤコブ4・13～18

聖句

義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。 16節

この手紙を書いたヤコブというのはイエス様の弟でした。この人は祈りの人で、ひざまずいてよく祈ったので、ひざが、らくだの足のコブのようになつていたと伝えられています。そのヤコブが、祈りの人エリヤのことを書いています。神様が信じる人のお祈りは、大いなる力があって、いつでも効果テキメンだといえます。あのエリヤも人間だったけど、火を降らせたり、雨を降らせたりしました。すごいですね。あなたも効果テキメンのお祈りがしたいですよ。

いのちの祈り

天のお父様、お祈りの力がどんなに素晴らしいものか、もっともとお祈りして知ることができますように。

# 6月25日(金)

聖書

ヨハネ16・22～24

聖句

あなたがたが父に求めるものはなんでも、わたしの名によって下さるのである。 23節

あなたの名前は何ですか?あなたの名前を見たり、聞いたり、呼んだりすることは、あなたのお父さんにとってはとても大きな喜びなのです。きつとあなたが思っている以上にね。私たちが地上で、「イエス様がねって話している」と、天の父なる神様は耳をそば立てて聞いていらっしゃるにちがいないよと、ある先生が言っておられました。その愛するみ子イエス様のお名前によって祈るなら、父はなんでも求めるものをくださるということです。

いのちの祈り

天のお父様、尊いひとり子イエス様のお名前でお祈りでき、求めるものが与えられるお約束を感謝いたします。

1 天のお父様、たった一回きりの人生です。あなたのみ言葉を聞いて行って、あなたに喜ばれる人生にしてください。

7月1日(木)

聖書

I コリント 3・10～15

聖句

この土台はイエス・キリストである。  
11節

パウロ先生の言葉です。パウロ先生はもと大迫害者サウロでした。ダマスコへクリスチヤンたちを迫害しに行こうとした時、突然、天からの光に照らされ、復活のキリストに出会いました。今までの信仰の土台であった律法や儀式や、人間の誇りが全部崩されて、しっかりと土台がすえられました。この土台はイエス・キリストでした。広くあちらこちらに伝道旅行に行つては、このイエス・キリストという信仰の土台をすえまくったのです。あなたの土台も主イエス様ですか？

いのちの祈り 天のお父様、何があってもゆるぐことのない人生の土台は、イエス・キリスト以外にないことを確信します。

6月30日(水)

聖書

マタイ 8・5～13

聖句

ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕は  
8節  
はなおります。

イエス様の町といわれたカペナウムに帰つてこられた時のできごとです。百卒長とは、ローマの兵隊の百人隊長です。ユダヤ人ではありません。自分の僕の中風をなおしてくださいと訴えてきました。「行ってなおしてあげよう」と言うのと、とても謙遜に百卒長は言いました。「イエス様を、わたしの屋根の下にお入れする資格はありません。ただ、お言葉を下さい。自分のような者の命令にさえ兵卒は従うのですから」と。イエス様は感心し、み言葉でいやしてあげました。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様をさえこんなにもで感心させた百卒長のように、あなたのみ言葉の力を信じたいです。

7月3日(土)

聖書

I ペテロ 2・1～10

聖句

今生れたばかりの乳飲み子のように、  
混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。  
2節

みんなも乳飲み子の時があったのです。おいしいお母さんのおっぱいを毎日毎日ごくごく飲んで大きく育ってきました。中には健康優良児として、表彰された子もいるのかな？イエス様を信じて、生れ変わり、神様の新しい命をいただいた乳飲み子クリスチャンは、「混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい」と言われています。それは聖書のみ言葉のことをさしています。「おいしい！」と思う時や、「甘いな！」とか「辛いな」とかいろんな味を楽しめますよね。

いのちの祈り 天のお父様、毎日、霊の乳であるみ言葉をしっかりと読んで、飲んで、味わって、行って、成長できますように。

7月2日(金)

聖書

ヤコブ 1・19～25

聖句

御言を行う人になりなさい。  
22節

ここに二つのことが言われています。一つは、み言葉を、すなおに受け入れなさい。いろんな人の言葉は、そのまま受け入れると大変なことになることもあります。み言葉は絶対に大丈夫です。二つ目は、み言葉を行う人になりなさい。聞くだけで行わない人の姿は、ちょうど、自分の姿を鏡に映して見ても、そこから立ち去るとその姿を忘れてしまう人のようだって。顔に汚れがついていてもそのまんまということでしょうね。お恥ずかしいことだと思えます。

いのちの祈り 天のお父様、み言葉を聞いて忘れるのではなく、実行できますように。そしてあなたの祝福に満たしてください。